

県内生産の農業用ドローン 深谷地区でデモ飛行



県内で開発・製造された機体であることから、県の導入支援補助金の対象にもなっています。

菊池製作所のグループ会社・イームズロボティクス(南相馬市)が、6月15日、深谷地区で農業用ドローンの実演デモンストレーションを行いました。

当日は農家の皆さんをはじめ関連機関の担当者が集まり、手動・自動の農薬散布の実演を見学。共同購入や有料の散布サービスなど、個人購入以外の導入方法についても説明を聞きました。



相馬地方防火安全協会飯館支部 会員と消防機関が連携を確認

相馬地方防火安全協会飯館支部の令和5年度総会が、6月2日、交流センター「ふれ愛館」で開催されました。総会では佐藤賢二支部長(深谷)が「近年増加する自然災害に対し、自主防災組織の強化を図り、会員と消防機関が連携しながら地域住民の安心・安全を守るよう適切な防火・防災活動をしていきたい」とあいさつ。また前支部長の持立真孝さんに感謝状が贈られました。同支部では今年度、コロナ禍で休止していた事業を徐々に再開し、普通救命講習などを実施する予定です。



飯館支部の事務局は飯館分署内に置かれています。総会には会員及び招待者合わせて20人が出席しました。

生涯学習講座「花と対話」 野の花と語らい生ける愉しみ



松原さんの庭に設けられた特別教室で、花と語らう時間を満喫。華やかな生け花作品と記念撮影。

6月21日、生涯学習講座『「花と対話」生け花を楽しもう!』が開催されました。会場は、講師の松原光年さん(小宮)のご自宅で、オープンガーデンの花々に囲まれ生け花を楽しみました。花材は講師が準備した他、参加者がオープンガーデンに咲く80種類以上の花々から選び、3つの作品を造りました。参加者は生け花のコツを丁寧に教わりながら、和やかな雰囲気で作業に取り組みました。

生涯学習課では、年間を通して様々な事業を開催していますので、お気軽にご参加ください。

交流センターに開設 人権擁護委員の特設相談所

6月2日、交流センター「ふれ愛館」に、特設人権相談所が開設され、人権擁護委員による人権相談が行われました。6月1日の「人権擁護委員の日」に合わせて実施されているものです。

人権擁護委員は、地域で人権が侵害されないよう注意を払い、侵害された時には相談を受け適切な救済の措置を行います。また、人権への理解を深めてもらう啓発活動にも取り組んでいます。今回のような機会に限らず日頃から無料で相談に応じており、相談内容については秘密が厳守されます。



特設相談所は視聴覚室に開設。人権擁護委員の高木久子さん(大倉/写真左)と山田郁子さん(伊丹沢)。

商工業持続化支援金の 検討を進めます



商工業への支援が急務であることから、支援内容を早急に具体化するための体制づくりを協議しました。

杉岡村長の諮問を受け、6月22日、商工会館において、電気料等の高騰に伴う商工業持続化支援金の検討について、協議が行われました。

この日は今後の進め方について協議を行い、渡邊春治委員長(小宮)をはじめとする商工会総務委員会の中で、村の担当者と情報を共有しながら進めることが確認されました。

また、7月10日に第1回の検討の場を設け、商工業者への具体的な支援内容について検討を進めることが決定されました。

あぶくま信用金庫飯館支店で 防犯キャンペーン

6月15日、あぶくま信用金庫飯館支店で、防犯キャンペーンが行われました。南相馬警察署や飯館駐在所の横倉警部補、南相馬地区防犯指導隊飯館支部の渡邊富士男隊長(飯樋町)、原田直志副隊長(深谷)が参加し、訪れた利用者に詐欺防止の啓発チラシやグッズを配布しました。

福島県警察本部では、悪質な犯罪や悲惨な交通事故などから県民を守るための情報を「POLICEメールふくしま」で配信しています。詳しくは「福島県警察 メール」で検索を。



何気ない会話が被害防止につながることもあります。みんなで地域の安全を守っていきましょう。